

令和5年度第1回議会モニターと議員の意見交換会報告書



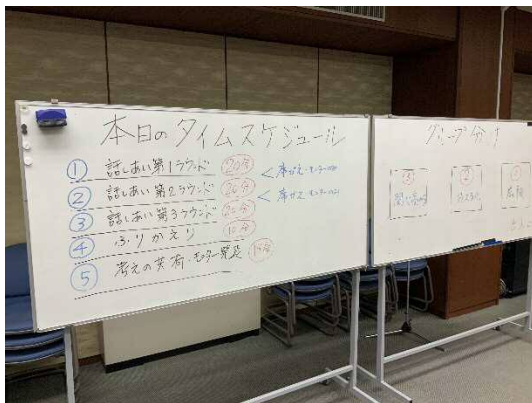
議会モニターと議員の意見交換会

1. 開催概要

- (1) 開催日 令和5年10月4日（金）13：30～15：30
- (2) 場所 議員全員協議会室
- (3) 出席者 議会モニター8名、議員10名（議長、広聴広報委員）
- (4) 意見交換 班に分かれてのワークショップ（ワールドカフェ）

【テーマ】

- ① 議会広報
- ② 議会・議員活動の見える化
- ③ 議会への関心を高める取組



2. 議会モニターからの主な発言内容

【 議会広報について 】

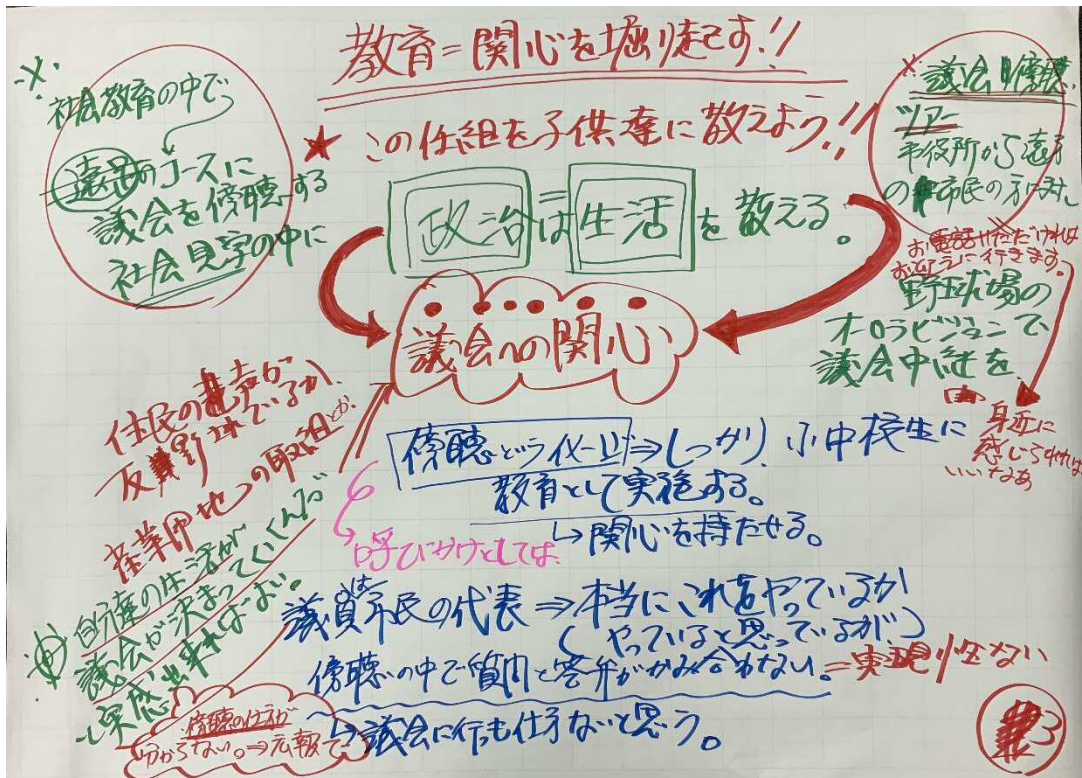
- 新しい広報は思い切った改革をしたと思う。特に表紙のデザインは画期的、素敵だと思うし、一関市らしい。
- 表紙イラストを描いている方が、市内在住者というのもよい。
- 内容、レイアウト、良くなったと思う。表紙がきれい。
- カラーになって読みやすくなった。興味が沸く。
- 見た目の印象がよくなった。
- 表紙の「市民とつながる」の見出しもよい。
- 読みやすくなったが、見てもらうためのPRが必要。
- 特集記事として、小・中学校、高校等を取り上げてはどうか。
- 傍聴に来たくなるような特集記事を掲載してほしい。
- 単語帳（用語解説）は分かりやすくてよい。
- 何を伝えたいのかコンパクトにまとめる必要がある。
- 市広報に挟まって配付されるので見ない。配付の仕方が課題。
- 若者、高齢者に見てもらう方策を検討すべきである。
- LINE や youtube、インスタグラム等を活用して発信されたい。
- 学校へもデータ形式でいいので、配付したほうがよい。（家では親しか見ない）
- 今後の見直しにも期待したい。

【 議員・議会活動の見える化について 】

- 小、中学校、高校の授業の一環として議会傍聴を組み込んでもらってはどうか。
- Uドームや野球場などで議会をやってみてはどうか。
- 移動市長室のように、移動議会などを実施して、市民が議会を見る機会を増やす。各地域、各支所でミニ議会などを開催してはどうか。
- 待っているだけでなく、議会に来てもらう取組を。学校や地域ごとでの議会ツアーの企画など。
- 市民と議員の懇談会を増やす。
- インスタグラムやLINEでの情報発信を。
- 文字だけでなく、画像、動画で情報を発信する。
- 議員個人に関心をもってもらう必要がある。普段どんな活動をしているか知りたい。
- 議会は分かりにくい。市民に何を伝えるか明確にすべき。
- 政治と生活が密着していることを分かってもらう必要がある。そうすれば、議会に関心が沸く。
- 政策提言は、市民に見える場で行ってほしい。
- 各議員は各地域に出向き市民と触れ合う場をもつこと。
- 選挙とは別に、議員の信任投票を実施してはどうか。
- 一般質問の内容や準備に関わった市民を傍聴に誘ってみてほしい。

【 議会への関心を高める取り組みについて（傍聴者を増やす取組） 】

- 議会を開く時間を変える。夜間議会、休日議会。
- いろいろな地域で、議会傍聴についての声掛けをする
- 傍聴者を待つのではなく、迎えにいったり連れてくる。傍聴に来るか方の移動手段を検討されたい。
- 生活に密着しているテーマを市民に伝え、市民が議会や市政に参画するよう働きかける。
- LINE で日々の議会情報を発信
- 小中高生に傍聴する機会を持たせる。議会から学校に案内してはどうか。
- 関心を掘り起こすため住民の声を聞く。若年層との懇談会。
- 学校や地域住民による議会傍聴ツアーを企画してはどうか。
- 閉校校舎を使用した議会主催イベントを開催



市のLINEがある事に
知らせる。
若い人に見てもらう方策
LINE インスタ
市にまわってもらう「議会報かてまほした」や
議員紹介の色を変えた方がいい
(季節の色、黄、赤、白、青)
特集を生かす「傍聴に行こう」や
用語解説も良い 学生だと多読を見る
一問のPR
7月14日は気になくても良い
何か伝えたいの
コンパクトに

議会だより

色を変えた上
・緑と白で議員ごとに
見やすい。
・字が小さいのが大事かも
良い。

書きのペンがいてみづらかった。ページが減ったほうが良い
・議員が見える。顔が見える。カラーが変えて見やすい。味がある
・見してもらえ議会報に似た。表紙が良い。(中身を見た方がいい)
(可決、不採決など命題あり) 発行日がある。イラストやわかり
・議員の日常のふろし。身近になる。市民のインテリは集めて良い
・議会改革という事か命題あり。QRコードは活用してない

・インテリ者の名前もいれたら **グループ1**

議会報の発行日 3月29日

